



▲バックナンバーはこちら

木になる木
～ヤドリギの生存戦略～



枝についたヤドリギ(右:拡大) 撮影日:2020.1.25 撮影場所:湯本塩原大沼

レンジャクって?

頭の後ろに長く伸びる冠羽が特徴の冬鳥。日本では、尾羽の先が赤いヒレンジャクと黄色いキレンジャクの2種類が見られる。サイズは、スズメより一回り大きい。晩秋になるとロシアから飛来し、冬を越す。



種を運ぶヒレンジャク

珍百景
なすしおばら

あなたの"珍"を募集中

＜応募方法＞

方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話
☎0287(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

金色に光るサナギ



投稿者 N.浜・悠・匠さん(8.6.3歳男性 上厚崎)
撮影場所 沼野田和(撮影日 2019.10)

東那須野みねやま公園で金色に光るサナギを発見?? 持ち帰って育てたら赤茶っぽい蝶が出てきました。金色から赤って…蝶って不思議だなあと思いました。

冬になると、木の枝についたマリモのような大きな塊が目につきます。これは、ヤドリギという落葉広葉樹につく常緑の木で、ヨーロッパでは古くから神聖な木として親しまれ、日本でも奈良時代には髪に挿して長寿を祈る風習があったそうです。
ヤドリギは、宿主となる木の枝に根を張って水やミネラルをもらいますが、成長に必要な栄養は自ら光合成をして蓄えます。塩原では、大沼やヨシ沼の周辺に多く、3月頃に小さな花を咲かせて、11月頃に黄色や橙色の実をつけます。
ところで、ヤドリギはどうやって高い木の枝につくのでしょうか。その秘密は実にあります。実の中にはネバネバした汁と種が1つ入っています。どれくらい粘り気が強いかというと、納豆よりも接着剤に近いイメージです。レンジャクなどの鳥がこの実を食べると、ほとんど消化されずにふんとして出てきます。そして、種が枝にへばりつくと、そこから発芽するのです。
ヤドリギは、レンジャクの到来に合わせてるように実をつけて高い枝先に種を運んでもらい、宿主の木が葉を落とす晩秋から早春にかけて、強い日差しを全面に受けて光合成をします。周りの生き物をうまく利用しながら力強く生きる姿に、昔の人は神秘的なものを感じたのかもかもしれませんね。

じゅんじ



トチギーブックス
TOCHIGI eBOOKS
栃木県のすべてがそろった"電子書籍"ポータルサイト「トチギーブックス」



"Tochigi ebooks"で広報誌の配信を開始しました。パソコンやスマートフォン、タブレット端末で広報なすしおばらを読むことができますので、ぜひご覧ください。

Tochigi ebooks とは

県内の自治体が発行する広報誌などを電子書籍化し、無料閲覧できる地域特化型電子書籍ポータルサイトです。

check!!



3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
63円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所 □□□□□□□□

那須塩原市

※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。

フリガナ ペンネーム
お名前 (希望者のみ)

☎電話

年齢 性別 男・女

編集後記

国際交流員フロリンの紹介記事を担当しました。外国で働く夢を持ち、それを実現しているフロリン。尊敬しちゃいますね。実際に話をしても、お世辞抜きに達者な日本語と、その語彙力には驚かされるばかり。尊敬しちゃいますね。記事でも取り上げているオーストリア風クレープ「パラチケン」ですが、あの写真もフロリンが自分で作って撮影してくれました。3か国語を話し、料理も上手。相当努力したはずですよ。もう…尊敬しちゃいますね。(高久)

2月3日の節分に保育園の豆まきに取材へ伺いました。毎年色々な保育園にお邪魔していますが、今回は先生たちが演じる鬼の完成度の高さにビックリ! 大人でも圧倒されるほどリアリティのある鬼の登場に、子どもたちは案の定大泣き…。本気で怖がる園児たちを見て、「わたしにもこんな頃あったのかな」と懐かしくなると同時に、もう鬼を怖いと思えなくなった自分は、遠い昔に幼心を置いてきてしまったんだとちょっと寂しい気持ちになりました。(生駒)

【お詫びと訂正】

2月5日号に掲載した次の記事に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

○3ページ
「波立小グローバルタイム」(修正前)外国人農業実習生
↓
(修正後) 外国人留学生